

1 事業概要

		課名	危機管理室	事業No.	260
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		11	災害に備え、社会基盤を強化し、防災意識を高める	
	分野別計画			第11次消防力（消防団）整備計画	
法令・例規等			消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律		
			消防団員の装備の基準		
事業目的	対象	消防団員			
	意図	消防団員の安全装備品の充実を行う			

2 事業内容

29年度取組	取組内容		経費の内容					事業費(千円)
	・第11次消防力（消防団）計画に基づき、継続して消防団員の安全装備品の整備を行いました。 ・消防団員の災害・訓練活動運営経費、研修費用及び消防団等公務災害補償等共済への加入など、消防団活動の充実を図りました。 ・消防団詰所の維持管理を適正に行いました。 ・飯田大火70年事業を開催し、火災予防啓発に努めました。	需用費		20,439				
役務費（自賠償保険等）			2,369					
委託料(デジタル無線設備管理・合併浄化槽等)			5,248					
使用料及び賃貸料			5,301					
公課費（自動車重量税）			1,061					
共済費			28,735					
報償費（退職報償金・講師謝礼）			29,065					
負担金補助及び交付金			103,564					
事業用備品購入費（消防団旗）			632					
その他の経費			1,743					
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	平成32年度実績	
	耐切削性手袋	双	270	270				
	防火衣	着	22	29				
	防火長靴	足	45	64				
	トランシーバー	台	30	22				
29年度決算(千円)	予算額	207,460	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	198,157	(そ)消防団員等公務災害補償金 83千円					
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ)消防団員等退職報償金 26,733千円				
		県支出金	0	(そ)消防施設使用料 239千円				
		地方債	0					
		その他	27,055					
一般財源	171,102							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	9	1	2	10	1	22,559	21,538	非常備消防一般経費
2	1	9	1	2	11	1	184,901	176,619	消防団運営事業費
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	車両の定期点検や修理等を精査し、適正な維持管理及び安全装備品の配備を実施しました。消防団に期待される活動が多様化している一方で、団員定数確保が深刻な課題となっています。
上記の課題解決のための有効策	団員確保のため、あらゆる機会を捉え広報を実施します。また、事業内容や団員の福利厚生の上向などの見直しを行い、消防団活動に参加しやすい環境を整えます。
次年度に向けての取り組み	安全装備品の充実を図り、活動に支障が生じないよう安全で魅力ある消防団を目指すとともに、団員個々の消防技術力を高め住民の安全・安心を確保していきます。